

いわての伝統工芸  
Traditional craft of Iwate

# 大野木工技術によるシフトレバー

‘Ohno-Mokko’ wooden shift lever



## 大野木工の特徴

地元の木を使い、ひとつひとつ手作りで製作されている生活工芸品。

木工ろくろと呼ばれる機械で材料となる木を回転させ、そこに刃物を当てることで木を削る。独自の製法で、白木の質感と日用に耐えうる扱いやすさを両立している。

コミュニティ生産方式で、点在する個人工房が大野木工という共通ブランドの水準の製品を作っている。(みのり工房もそのひとつ)

製品の裏側には、製作を担当したもののサインとなる個別の焼き印が押されており、品質と販売後の修理の責任を示すものになっている。



## みのり工房

林郷 亨

1998年 佐々木米蔵氏に弟子入り

2001年 工芸都市高岡2001クラフトコンペ 銀賞受賞(グループ出展)

2005年1月 みのり工房 開業

一部の識者や好事家だけのものではない、暮らしに寄り添うものづくりを主題に活動。

流通主体ではなく作り手からの発信を続けるとともに、残すべき文化の継承に役立てるように願っている。最近ではプロシューマー(生産消費者)の活発な活動の中に新たな潮流を見出し、各地のクラフト市に参加している。

現在、同世代の仲間たちと活動しながら、新しい商品群を開発中。  
(来年度中に発表予定)



〒028-8802

岩手県九戸郡洋野町大野47-18-9

みのり工房

林郷 亨(りんごう とおる)

e-mail: m@minoriplus.net